

週間漁海況情報—第2号

平成25年1月15日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

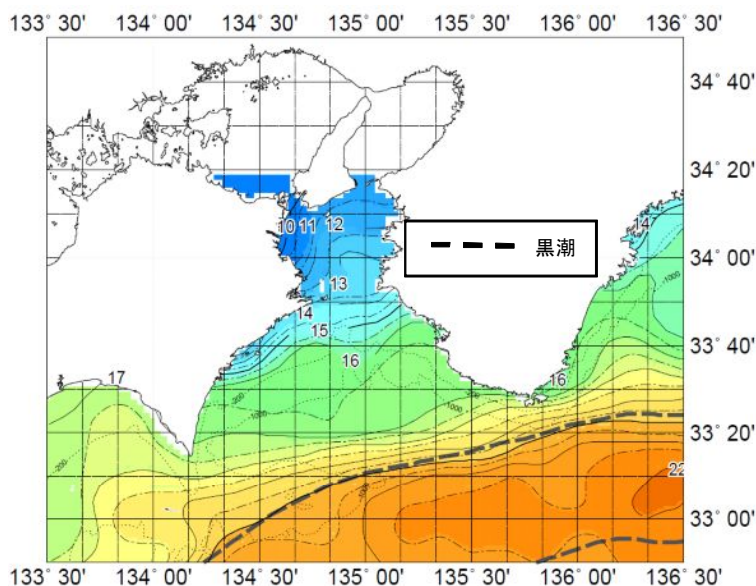
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究所

1. 海況の経過

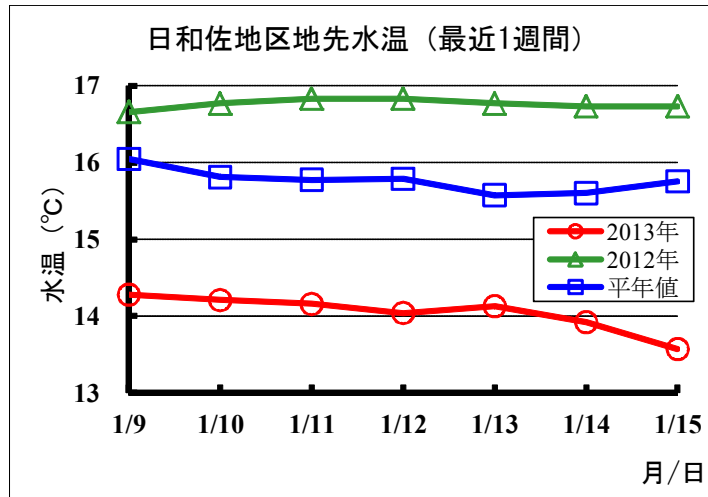
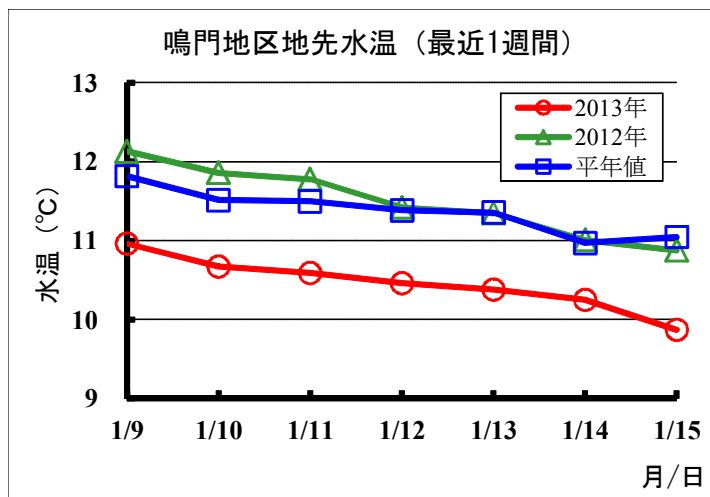
右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H25.1.15）を示した。

黒潮は、室戸岬沖でやや離岸、潮岬沖で接岸している。

黒潮本流の表面水温は、20℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で9～10℃台、紀伊水道で9～13℃台、海部沿岸で13～16℃台である。紀伊水道外域への暖水流入は弱まりほとんど確認できない。



地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや低め」の9.9～11.0℃、日和佐地区は「低め」～「やや低め」の13.6～14.3℃、牟岐地区は「かなり低め」～「低め」の12.0～13.5℃で推移した。



* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸で、大主体にキダイが0.8トン（1日1隻あたり18kg）、大主体にサバフグが0.9トン（同35kg）、カワハギが0.4トン（同40kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で、カタクチイワシが0.5トン（同35kg）、アオリイカが0.6トン（同7kg）水揚げされた。

大型定置網：海部沿岸で、小小・マメ主体にマアジが0.4トン（同41kg）、小主体にゴマサバが1.1トン（同118kg）、中主体にアオリイカが0.2トン（同25kg）、中主体にスルメイカが1.0トン（同115kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で、メジロが0.2トン（同10kg）、大主体にアオリイカが0.5トン（同10kg）水揚げされた。

かご：海部沿岸で、小主体にウツボ類が0.3トン（同19kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 1月7日～1月13日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出 漁隻数	漁獲量 (kg)	1日1隻当たり 漁獲量 (kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	キダイ	47	841	18	大主体
		サバフグ	25	877	35	大主体
		カワハギ	10	405	40	
小型定置網		カタクチワシ	15	519	35	
アオリイカ		79	589	7		
大型定置網		マアジ	9	373	41	小小・マメ主体
		ゴマサバ	9	1,061	118	小主体
		アオリイカ	9	221	25	中主体
		スルメイカ	9	1,031	115	中主体
釣り		メジロ	24	234	10	
		アオリイカ	51	496	10	大主体
かご		ウツボ類	16	300	19	小主体

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年の1月9日～1月15日には、海部沿岸では、延縄で、中主体にアマダイが0.3トン、大主体にサバフグが1.1トン、小型定置網で、小主体にアイゴが0.3トン、アオリイカが1.3トン、カタクチイワシが0.9トン、マルソウダが0.3トン、メジナが1.0トン、大型定置網で、小小主体にシイラが0.6トン、大主体にヒラソウダが0.6トン、小主体にマサバが0.5トン、マルソウダが0.9トン、釣りで、大主体にアオリイカが0.8トン、大・小主体にゴマサバが0.3トン、中主体にマサバが0.3トン、マダイが0.6トン水揚げされた。

週間予報：黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」、潮岬沖において「接岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地先で「やや低め」の9℃台、日和佐地先で「低め」～「やや低め」の13℃台で推移する見込み。